

選択必修 03 中学・高校の先生のための英語教育へのアプローチ

開講日 8月 10日(木)

受講料 6,000 円

募集人員	時間数	履修認定対象職種	試験方法	担当講師
70名	6時間	教諭	筆記試験	大阪市立大学 英語教育開発センター 特任講師 高森 理絵 大阪市立大学 英語教育開発センター 准教授 野田 三貴 大阪市立大学 英語教育開発センター 特任准教授 Elizabeth Leigh 大阪市立大学 英語教育開発センター 准教授 山本 修
講習内容 既に公立小学校の5年生と6年生を対象として、外国語活動が始まっており、また、中学校、及び高等学校の新学習指導要領でも、コミュニケーション活動を通して、4技能をバランスよく修得することが求められている。本講習では、4人の講師が各自の専門分野をふまえ、効果的な英語の指導法について話すとともに、小学校から大学までの英語教育に何が求められるのかを中学校・高等学校の先生と一緒に考える。				
主な受講対象者 中学校・高等学校 英語科教諭				

時限	担当講師	授業概要
1限	高森 理絵	英語のメタファー ：認知能力のひとつである「メタファー」を学ぶことで、英語特有の表現について、意味の成り立ちの基盤を理解します。
2限	野田 三貴	英語授業における文学テキスト ：詩・小説・自伝・エッセイ・脚本など、文学テキストを幅広く捉え、音読や文体への着目により得られる学習効果及び文学を通して得られる他者性の理解という副次的効果について、授業例を交えて考えます。
3限	Elizabeth Leigh	Developing Reading and Discussion Skills and Expanding English Vocabulary Through Cultural and Environmental Issues : This session will use unit 7 "Consuming Cultures and the Environment" of a course book entitled "Cultural Issues= Environmental Issues". The authors state in the Preface, 'Lifestyle choices both positively and negatively affect the world. Will our future be a healthy or unhealthy one? Our behavior will answer that question'.
4限	山本 修	学校英文法と英語学 ：英語学研究成果が中学校および高等学校における英語教育にどのように応用できるかを考えます。理論的な側面にはあまり注目せず、具体的なさまざまな事例を検討することにより、英語という言語に対する理解を深め、それを授業に活用することを目指します。
受講生へのメッセージ	この講習の内容は、TESOLから英文学、英語学とバラエティに富んでおり、形式も、講義からグループワークなどを含む演習とバラエティに富んでいるので、気軽に参加できると思います。受講される方は、ぜひとも事前にテキストに目を通しておいてください。	